

# KODOMO PASOCON NEWS こどもパソコン新聞

【発行】  
（株）情報学習新聞社  
東京都港区新橋6-14-5  
オーイズミ新橋ビル6F  
TEL 03-3459-6190  
http://www.joho-gakushu.com  
Eメール info@joho-gakushu.com

## 千葉学芸高等学校



千葉学芸高等学校  
校長 高橋 邦夫先生

創刊第二号の今回も、学校でのICT教育の現状を紹介いたします。  
千葉県の千葉学芸高等学校と、  
東京都の成城学園初等学校、愛知県の滝中高等学校にうかがいました。

# 学校のICT教育の 現状をレポート!

学校取材特集  
〈1面・2面〉

## 成城学園 初等学校



成城学園初等学校  
杉田 博之先生

見学させていただき、コンピュータ教育担当の杉田博之先生にお話をうかがいました。

**一生懸命だけ楽しそう**  
画面にクラスのお友だちの写真と名前が次々登場。名前をローマ字で入力していきます。同様に、かるたを使った入力のカリキリムもあり、子どもたちは一生懸命ですが、ポイント制なのでゲーム感覚なのか、なかなか楽しそうです。

「三年前から実験的に三年生に『パソコンの時間』を導入しました。他の学年では週一回パソコンの部屋の使用割当てをしています。ですから、どの教科が割当てられるかは、担任の先生に任されています。」

授業は「T・T（チーム・ティーチング）」で行っています。

「現在、パソコン教室に四十台、全八教室に各台、先になりにます。」

**最初に教えること**  
「スキルの差は歴然としています。家庭にパソコンがあっても好きで一生懸命やっている生はノートパソコンを各台所有しており、すべてインターネットにつながっています。」



▲コンピュータ部門の三年生は卒業に向けて資料作成

一九八四年には早くも生徒一人あたりパソコン一台を利用できる環境を整え、一九九五年に文部省通産両省（当時）の二〇〇校プロジェクトの研究指定校にもなった千葉学芸高等学校にうかがい、同校の情報教育の推進者であり、校長も務められる高橋邦夫先生にお話を聞きました。

「二三年生の普通科情報コースでは、二年間に学ぶコンピュータ関係の授業は八〜十二単位にもなり、コンピュータを使った学習時間が普通高校では全国で最も多い同校ですが、中でも特に注目を浴びているのは、色彩について学び、表現する『色彩教育』です。」

「一九九四年にコンピュータグラフィックを用いての色彩教育を始めました。よく『感性を磨く』と言いますが、感性というのは育てなければならぬものというより若い方にはもと

も豊富にあるものです。ただ、その感性を表現する手段がない。コンピュータはソフトの機能を使って、子どもたちがその感性を具現化するために有益なツールです。」

**コンクールによる多くの意義**  
毎年行われている生徒さんの作品による「コンピュータ・グラフィックアート・コンクール」は、今年で十五回目を迎えます。レベルの高い作品の中から、「最優秀賞」、「金賞」、「銀賞」が選ばれますが、入賞作品だけでなく、全作品が掲載された冊子が作られます。

「生徒にとってコンクール入賞という目的を持つてつづの作品を仕上げたという達成感、作品集として形になる嬉しさは、かけがえのないものだと思っています。」

**入学時のスキルの差**  
「入学時のパソコンのスキルの差はかなりあります。不得意な生徒には最初からキーボードの操作の指導をして、機械に親しんでもらうことから始めます。ある程度の操作ができるようになれば、他の教科の学習に支障なく進みます。」

**子どもたちへのアドバイス**  
若い世代には、鋭い感性と大きな可能性があります。何事にも「挑戦すること」が大事です。挑戦する前にあきらめないで、コンピュータでもスポーツでも何でも負けないから、これだけは誰にも負けない」というものを持つてほしいです。



▶次々と入力する成城学園初等学校の三年生

「ネチケツは、情報社会でコミュニケーションを円滑にするための『生活の知恵』のようなものです。子どもたちにきちんと教えていけば次の世代にも受け継がれていくことでしょ。」

「スキルは、前記の国語防止のDVDを見せたり、自分たちで作ったテキストにより、個人情報を通して五十年前のローマ字表を見せてみるような文章をインターネット上に載せることは、机に落書きをするのとはまったく違うんだということを教えます。」

基本的な機械の使い方などを教えたあと、インターネットにつながります。もちろん、フィルタリングをかけてあるので問題があるようなサイトにはつながりません。」

**国語の学習ともリンク**  
小学三年生でのローマ字入力には当初議論もあつたのですが、最近の趨勢がほとんどローマ字入力であること、英語を入力する時のために困らないようにというので決まりました。この学年の国語でローマ字を学習するのでお互いのこれからの研究を進めていく教科がリンクしていることだと思います。」

「学校全体としても再来年度にはしっかりとカリキュラムを作つて、正式教科としようという計画があります。中学校や高校では、既に教科としてやっています。幼稚園から大学までの先生とも連絡を取りあつて進めています。」

子どもたちの膨大な情報の中から情報を選択する能力、情報活用能力を育てるにはどうしたらいいかという課題もあり、これから研究を進めていくことだと思います。」

**情報教育の課題と将来**  
「スキルの差は歴然としています。家庭にパソコンがあっても好きで一生懸命やっている生はノートパソコンを各台所有しており、すべてインターネットにつながっています。」

「スキルの差は歴然としています。家庭にパソコンがあっても好きで一生懸命やっている生はノートパソコンを各台所有しており、すべてインターネットにつながっています。」

「スキルの差は歴然としています。家庭にパソコンがあっても好きで一生懸命やっている生はノートパソコンを各台所有しており、すべてインターネットにつながっています。」

「スキルの差は歴然としています。家庭にパソコンがあっても好きで一生懸命やっている生はノートパソコンを各台所有しており、すべてインターネットにつながっています。」